



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

# 議会だより

第42号

平成28年11月5日発行

# さ よ う



## 未来へかがやけ

もくじ

- ・第73回定例会
  - 平成27年度各会計決算を認定 .....2~7
  - 議案審議、平成28年度補正予算 .....8~9
- ・一般質問 8人の議員が斬りこむ .....10~18
- ・委員会報告 .....19~21
- ・議会の予定、編集後記 .....裏表紙

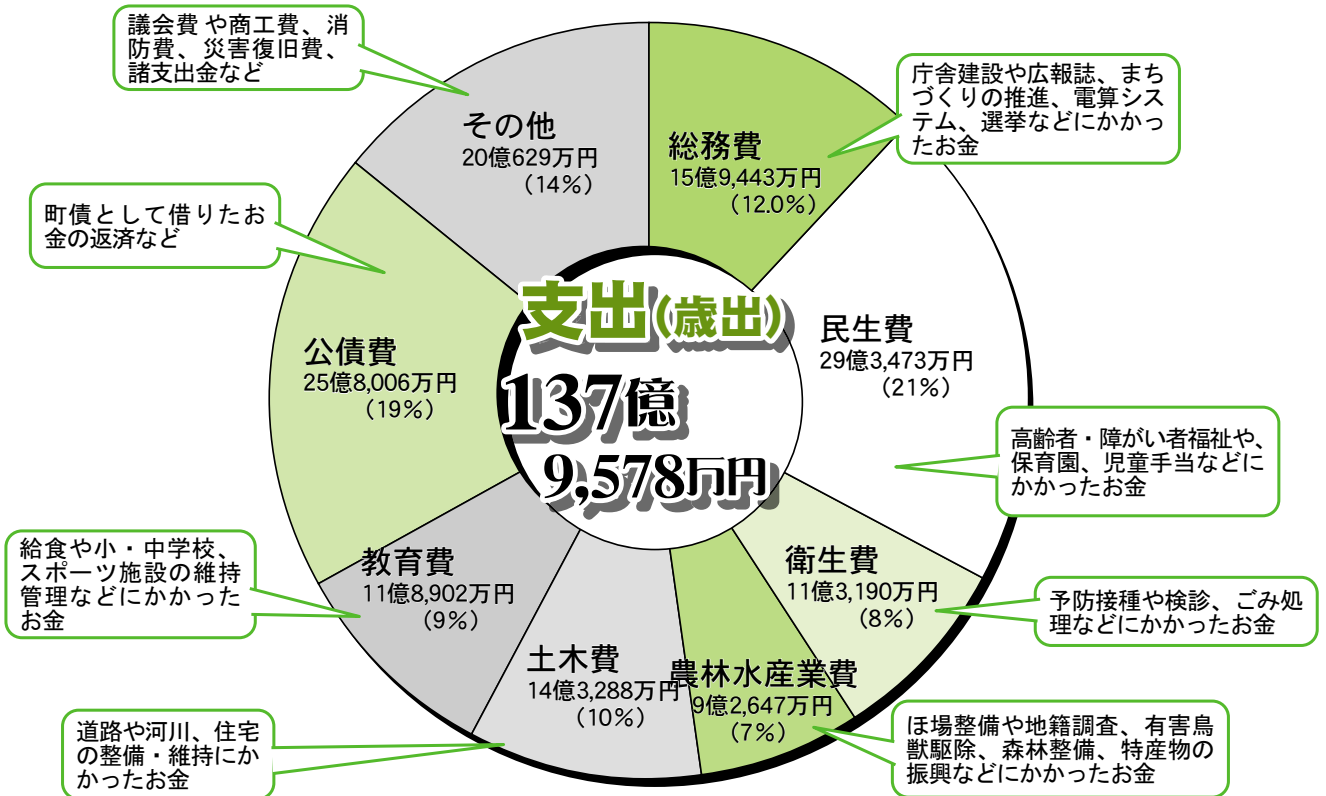
# ぐまちづくり！

**認定**しました

## 9月定例会

第73回定例会は、9月7日から28日までの22日間の会期で開かれました。財政健全化判断比率及び資金不足比率等報告4件や平成28年度佐用町一般会計補正予算等議案18件、平成27年度佐用町一般会計歳入歳出決算等認定16件、佐用町公平委員会委員の同意1件を慎重に審議し、原案のとおり可決承認しました。

一般質問は、8人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。



## 自主財源と依存財源？

**自主財源** 町民のみなさんに納めていただく町税や公共事業地元分担金、住宅使用料、公共施設使用料、住民票発行手数料など、佐用町が自主的に収入することができるお金のことです。

**依存財源** 国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税、道路や施設を作るときに国からもらう国庫支出金や県支出金、金融機関などから借りる町債などです。

## ●決算の状況 (歳出)

(単位：千円、%)

会計名	金額	対前年比
一般会計	13,795,781	3.9
メカソーラー事業収入	66,404	1,117.5
国民健康保険	2,526,617	11.4
後期高齢者医療	277,835	△ 4.7
介護保険	2,255,963	3.5
介護保険(サービス事業勘定)	10,951	4.3
朝霧園	124,803	△ 1.7
簡易水道事業	829,842	3.9
特定環境保全公共下水道事業	791,946	△ 26.4
生活排水処理事業	428,966	2.7
西はりま天文台公園	108,789	△ 3.7
笹ヶ丘荘	126,480	2.1
歯科保健	24,025	1.9
宅地造成事業	801	3.5
石井財産区	21	90.9
農業共済事業	93,713	4.9
水道事業会計	167,302	△ 26.4

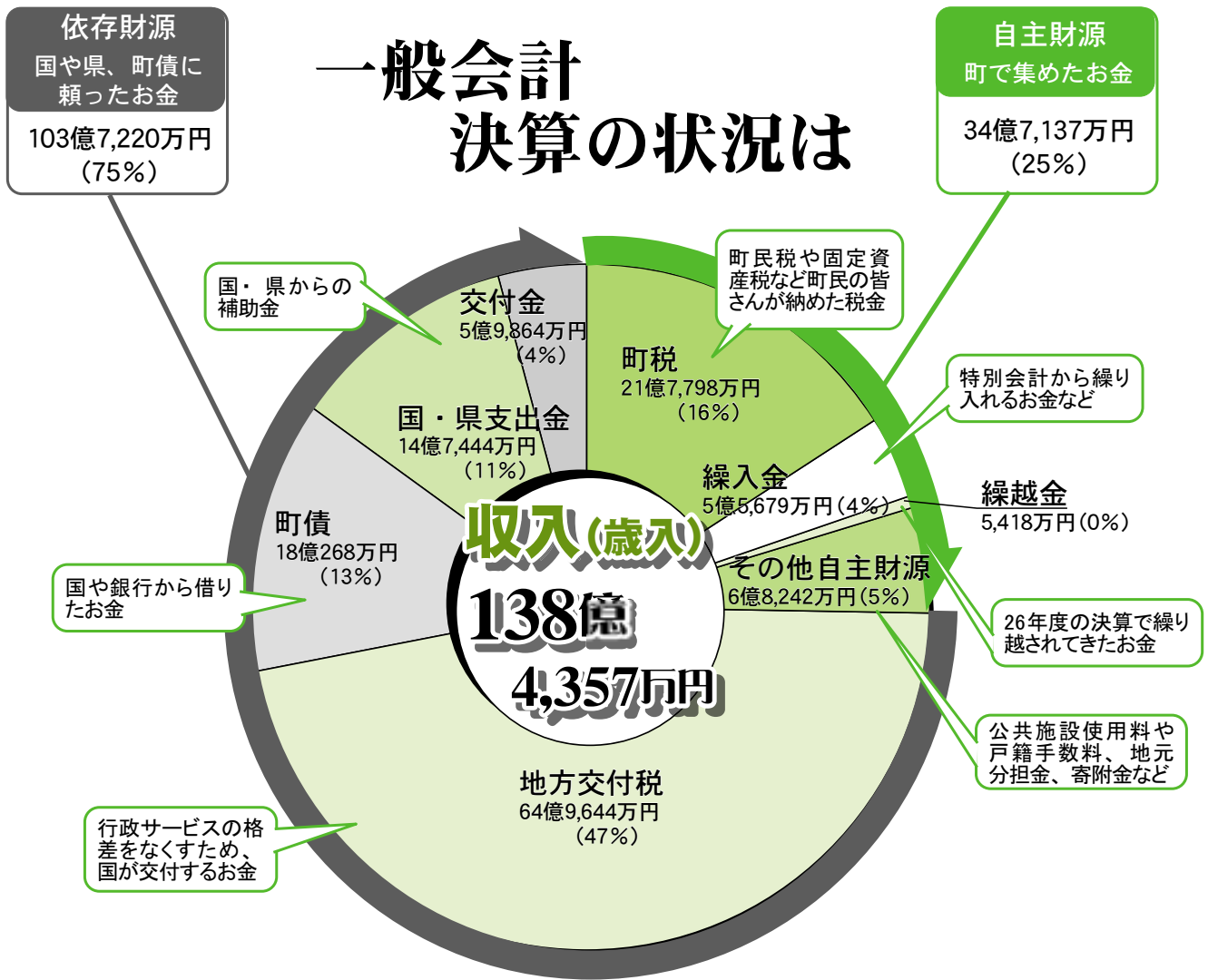
# 平成27年度 決算

一般会計歳出決算額

137億9578万円

# 未来につな

## 一般会計 決算の状況は



### ●町債(借金)と基金(貯金)の状況

平成28年3月末人口：1万7,996人  
(万円未満切り捨て)

#### 町債

(借金)

254億108万円

(前年比 5億8,517万円<sup>増</sup>)

町民1人あたり

141万円

#### 基金

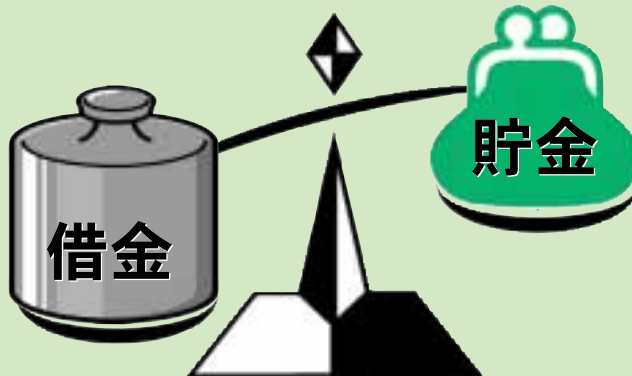
(貯金)

97億8,621万円

(前年比 4億8,932万円<sup>増</sup>)

町民1人あたり

54万円



# 決算審査

(9月8・9日)

## ここが聞きたい 決算特別委員会

平成27年度の一般会計及び特別会計等16会計の決算を、全議員で構成する決算特別委員会を設置して慎重に審査しました。

予算の使われ方、事業効果はどうかなど町長側に説明を求めました。

決算特別委員会 委員長 山本 幹 雄  
副委員長 岡本 義 次



### 一 般 会 計

**問** 基金積立にルールは有るか。

**答** 財政調整基金の他、それぞれ目的に応じた基金積立をし、安定した事業を継続していくという考え方で造成している。

**問** 町民応援券事業補助金4200万円の効果は。

**答** 本町は商工会に230店の会員がいる。会員からも大きな効果があったと聞いている。

**問** 人口ビジョン、地域創生総合戦略策定業務は職員でも出来たのでは。

**答** 職員も関わり知恵を出し、コンサルは知見があり補ってもらった。まる投げではない。

**問** 下水汚泥のたい肥化は経費が高いから断念するの、有機肥料に適さないから断念するのか。

**答** 実証の結果コスト面等を考慮して新しい施設を作るのは見合わず。

**問** 仕事帰りに役場によっても閉庁している。職員をフレックス化できないか。



▲本庁舎の窓口

**答** 昼も交代で対応している。人数に限りがあるので難しい。

**問** 男女の出会いサポート事業で、カップル成立後アフターフォローが出来ないか。

**答** 成婚に結びつけるようにしたい。

**問** 保育費で、臨時職員の内職員化を図るべきではないか。

はないか。

**答** 保育士については削減していない。クラスの担任などは正職員で行っている。

**問** 特定検診の受診率向上のため、どのように取り組んできたか。

**答** 広報、防災無線等で周知しながら、申込用紙もわかりやすく工夫するなどして、受診勧奨を行っている。

結果・賛成多数 認定

**問** 加入世帯の実態は。

**答** 平成27年度は、4千591人で若干減少している。加入世帯の約55%が減免されている。

**問** 町の特定健診による疾病状況の把握は。

**答** 検診結果については、各地域で説明会をし、保健師等が指導している。結果・賛成多数 認定

**問** 後期高齢者医療特別会計 不納欠損及び収入未

済額の要因は、また回収の見直しは。

**答** 時効及び納入遅延、滞納であり、納付相談を受けながら分納誓約を行っている。結果・賛成多数 認定

**問** 介護報酬が引き下げられたが、事業所の経営実態は把握しているか。

**答** 地域密着型の事業所とは、毎月定期的に推進会議を開催し、詳細に報告を受けている。結果・賛成多数 認定

**問** 特定環境保全公共下水道事業特別会計 昨年と同額分担保金収入未済額、解決の見通しは。

**答** 精査後、不要な公共マスは閉鎖・撤去する等進めていく。結果・全員賛成 認定

**問** 笹ヶ丘荘特別会計 宿泊料のうち、サツ

カー等合宿の占める割合は。また、どういう営業努力をしたか。

**答** 約81%を占めており、利用者の意見要望に応じたり、送迎をはじめ大会運営の支援に努めた。結果・全員賛成 認定

**問** 宅造成事業特別会計 土地売却のため、どういった努力したか。

**答** 現地案内等PRはしているが、成約には至っていない。地域の取引価格を調査し、評価を見直す予定である。結果・全員賛成 認定



▲広山分譲地

# 注目 平成27年度 こんなことに使われました!



▲合併10周年記念事業  
記念式典および記念品 **552万円**



▲五反田住宅改修  
外壁塗装、  
屋上防水工事 **6,094万円**



▲地域づくり交付金  
まちづくり推進のため、13協議会に助成  
**3,039万円**



▲地籍調査事業費  
10地域 22.29km<sup>2</sup>を実施  
**1億3,298万円**



▲佐用中学校楽器購入補助  
クラブ活動教材費 **452万円**



▲(仮称)南光地域保育園造成  
建設予定地の土地購入費  
(写真はH28.10現在のものです)  
**7,689万円**

#### 一般会計

**反対**  
町民の負担  
軽減に不十分  
な決算だ  
金谷英志

「特定健診」「健康診断」の充実とこの結果を踏まえた健康づくりの取り組みは不十分。商工業者の声を町の責任で直接把握し、それを商工業振興施策に活かすべきである。農業特産品の育成を強め、JA、県農業改良普及センターとも連携し、未耕作地対策など実効性のある農業振興への取組が必要である。

**賛成**  
健全な  
財政運営だ  
竹内日出夫

平成27年度決算においては、小学校施設整備や南光地域保育園建設などの重要課題が着実に実行され、さらには、国保会計や介護保険会計、下水道会計などに総額約18億円超の繰り出しを行い、住民負担の軽減に大きな効果をあげている。さらに、起債の繰り上げ償還を行い、実質公債費比率を昨年引き続き良好させながらも、実質収支を約3700万円の黒字にするなど、総合的に判断して健全な財政運営が行われていることが認められる。

#### 国民健康保険

**反対**  
負担軽減に背  
を向けている  
金谷英志

反対の理由は、国保税の負担軽減に背を向けていること。国保税は、平成24年に平均10%・1万3876円引き上げ、25年には6%・7741円を引き上げている。国民健康保険法第4条は、運営責任は国にあることを明記している。このことからして国庫負担分を引き上げ町、加入者の負担割合を抑えることが第一義ではあるが、町としては一般会計からの繰り入れを増やし保険税を引き下げるべきである。

**賛成**  
被保険者の負担  
軽減をはかりな  
がらの黒字決算  
加古原瑞樹

歳出の大半を占める保険給付費は、およそ15億8千万円で、昨年度より減少しているが依然高いところで推移している。一方、国民健康保険税はおよそ3億6千万円と伸び悩んでいる。このため一般会計から赤字補てん分の繰り入れ3705万円を含め、1億7千万円余りの繰り入れを行い、被保険者の負担軽減を図りながら272万円の黒字決算を結んでおり十分認定に値する内容である。

#### 後期高齢者医療

**反対**  
保険料値上げ  
は高齢者には  
死活問題だ  
平岡きぬゑ

後期高齢者医療制度は、平成20年から75才以上の高齢者を別枠の医療保険にし、病院が医療行為をすればするほど赤字になる制度だ。高齢者に必要な医療行為が受けられる補償がない。保険料は、高齢者人口と医療費が増えるのに伴い、2年ごとに引き上げになる仕組みで、年金削減のもと保険料の値上げは高齢者には死活問題だ。直ちに老人保健事業医療制度に戻すよう国に求めるべきだ。

**賛成**  
高齢者医療制  
度の維持に  
必要な財源だ  
加古原瑞樹

この特別会計は、75歳以上の後期高齢者のかたと、65歳以上の前期高齢者で一定の障害のある方を対象とする医療保険制度を運営する為の会計で、歳出のほとんどは、兵庫県後期高齢者医療広域連合への納付金である。本町の高齢者が安心して適切な医療を受けるための高齢者医療制度の維持のために必要な財源として使われており賛成する。

介護  
保険

**反対**  
繰入により  
保険料軽減に  
取り組むべき  
金谷英志

**賛成**  
繰入により安心して  
サービスを受けられ  
たことを評価する  
千種和英

介護保険料は、平成27年度に基準月額5100円から5000円引き上げており、ますます加入者の負担を増やすもので認められない。介護保険料の増額を抑えながら介護の基盤を強化し持続可能な制度とするためには、国庫負担割合の大幅引き上げが第一義だが、厚生労働省は自治体の独自減免を禁止していない。一般会計からの繰り入れで介護保険料軽減に取り組むべきである。

一般会計からの繰り入れにより、安心してサービスを受けられたことを評価する。開始から16年を経過し、高齢化が進み多くの被保険者に対応できるよう介護福祉施設も充実している。本決算においては、一般会計から、3億6千632万8千円を繰り入れ、住民が、安心してサービスを受けられた。今後、厳しい財政運営が続くが、今後も介護予防にも注力し、安心して運用を求め賛成とする。

●9月定例会 決算認定採決状況一覧 ○賛成 ×反対 ※議長(岡本安夫)は同数以外採決に加わりません

議案名	議員名	加古原瑞樹	千種和英	小林裕和	廣利一志	竹内日出夫	石堂基	岡本義次	金谷英志	山本幹雄	矢内作夫	石黒永剛	西岡正	平岡きぬる	岡本安夫
一般会計		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
国民健康保険特別会計		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
後期高齢者医療特別会計		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
介護保険特別会計		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
メガソーラー事業収入特別会計、朝霧園特別会計、簡易水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、生活排水処理事業特別会計、西はりま天文台公園特別会計、笹ヶ丘荘特別会計、歯科保健特別会計、宅地造成事業特別会計、石井財産区特別会計、農業共済事業特別会計、水道事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

決算監査報告(要旨)  
さらなる住民サービスの向上を



代表監査委員 榎本忠美

①効果的な事業執行を

事業の効率化を十分検証し、必要に応じて再編や統廃合による合理化を進め、新規事業については将来性と費用対効果を考慮の上、地域に適切な事業展開を今後も努められたい。

②学校・保育園の統廃合による跡地利活用を

小学校・保育園の規模適正化の推進については、初期目標は達成されているが、跡地利活用について、地域の雇用創出及び新たな事業展開に努められたい。

③指定管理者制度の適正管理を

多くの施設を指定管理委託しているが、それぞれの運営において

格差が見受けられる。

④安心安全なまちづくりを

先日の台風9号による災害復旧工事はほぼ完成に至り、また役場の本庁舎増改築も完成し、住民サービスの向上が期待できる。

今後は空き室の増えた旧庁舎等活用の低い施設の民間委託や貸付、また住民サービスを保持しながら、老朽化しつつある上下水道管等ライフラインの健全な維持管理に努力されたい。

# 合併特例債 を活用

## 総額 8 億 4 2 9 7 万 8 千 円

# 新設工事の基本協定を締結

## 議案審議

### 議決案件

町有財産の無償貸し付け

障害者就労支援施設運営に向け、旧長谷保育園跡地2170㎡、建物2棟を一般社団法人共生会に無償で5年間貸し付ける。

**問** 経営上の見通しは。

**答** 複数の事業を運営されており、経営は成り立っている。

**問** 共生会は、社会福祉法人、宗教法人、事業会社、保育園等を運営して



▲旧長谷保育園

いることの評価か。

**答** 全国にたくさん施設を運営され、堅実な経営がされている。

### 工事請負変更契約

三日月小学校大規模改造工事に、外壁及び給排水改修等の工事を追加することにより、阿山建設株式会社と総額1億2230万5680円の変更請負契約を締結。

### 財産の取得

教育サーバー、学校サーバー、校務用パソコン等132台を、姫路市の株式会社ニチワ姫路支店と4298万4千円で購入契約を締結。

南光地域保育園厨房設備機器を、赤穂市の有限会社近畿調理機と1436万4千円で購入契約を締結。

### 基本協定の締結

姫新線播磨徳久構内架道橋新設工事の施工につ

いて、平成15年3月20日付、「道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱」に基づき、西日本旅客鉄道株式会社と総額8億4297万8千円（平成28年度～31年度の4年間）で基本協定を締結。

事業費は安全対策指針等により、当初見込みより大幅に増額したが、緊急車両等の通行不能解消のために施行する。

**問** 大幅に増額となった事業費の妥当性は。

**答** 合併前、旧町からの懸案であり合意がなされた後も事業が進まなかった。事業にあたっては、JR側の設計基準、安全基準に基づき架設工事等が増えて算定された金額である。

**問** 透明性の確保という点で、入札段階から町が介入できるのか。

**答** JR西日本の指定業者、資格業者により発注されるものであり、最終



▲改善される町道小山安川線

## 同意

佐用町公平委員会委員の選任

氏名 山根勝博氏（大島）

## 補正予算

**問** 定住自立圏域プロモーション事業委託は。

**答** IT企業誘致及びサテライト等、各政策分野に係るものでたつの市、宍粟市、上郡町とともに作成する。

**問** 地域経済創造事業交付金は。

**答** 旧三土中のハウス建設等農業プロジェクトを推進するために申請する。  
**問** 商工費の工事請負費は何を実施するのか。



# 平成28年度～31年度の4年間で

# 姫新線播磨徳久構内架道橋

平成28年度一般会計補正予算額（歳出）（単位：千円）

予算費目(款)	補正額	主たる要因
一般会計	302,384	
議会費	△ 177	・職員人事異動に伴う人件費の減
総務費	109,304	・次世代農業モデルプラント建設事業への交付金の追加 ・電算システム設定委託料の増
民生費	△ 856	・職員人事異動に伴う人件費の減
衛生費	△ 19,666	・職員人事異動に伴う人件費の減
農林水産業費	△ 7,212	・職員人事異動に伴う人件費の減 ・町単独土地改良事業補助金の増
商工費	141,822	・西はりま天文台公園グループロッジ改修事業費の追加 ・道の駅宿場町ひらひら改修事業費の追加
土木費	50,584	・道路橋梁事業費の増 ・特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金の増 ・職員人事異動に伴う人件費の増
消防費	546	・職員人事異動に伴う人件費の増
教育費	65,463	・三日月小学校大規模改修工事費の増 ・上月体育館改修事業費の増 ・職員人事異動に伴う人件費の増
諸支出金	△ 37,424	・水道事業会計への繰出金の減

**問** 西はりま天文台公園グループロッジ棟改修。道の駅ひらひらくに農産物販売施設を統合するために改修する。

**答** 民生費補助金は、結婚新生活支援補助金を創設し、10月1日より実施。



▲道の駅

## 1 健全化判断比率

(単位：%)

区分	平成27年度 決算	平成26年度 決算	早期健全化 基準	財政再生 基準	備考
①実質赤字比率	-	-	13.51	20.00	実質赤字額なし（実質黒字比率 0.75）
②連結実質赤字比率	-	-	18.51	30.00	実質赤字額なし（実質黒字比率 7.54）
③実質公債費比率	8.8	9.7	25.0	35.0	
④将来負担比率	-	13.1	350.0		

## 報告

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

平成27年度決算に基づき、佐用町の「健全化判断比率」は別表のとおり、実質赤字比率と連結実質

## 【各指標の意味】

実質赤字比率	一般会計等の赤字の程度を指標化し財政運営の深刻度を示す。
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体の赤字の程度を指標化し、運営の深刻度を示す。
実質公債費比率	借入金の返済額、及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す。
将来負担比率	一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す。

いずれも数字が大きいくほど財政状況が悪いということになります。

専決処分の報告

町公用車の接触及び町管理施設の設置用品による相手方の車破損損害について、国家賠償法により賠償して和解した。損害賠償額 13万4000円

損害賠償額 9万4829円

赤字比率については、黒字決算であるため該当なしで、実質公債費比率と将来負担比率は早期健全化基準未達となっている。

公営企業会計の「資金不足比率」についても、すべての会計に資金不足は発生していない。

外部有識者評価委員により点検評価した結果、主要25施策のうち23施策は「目標を上回った」または「ほぼ目標どおり」、2施策は「目標をやや下回った」となった。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について



9月13・14日、8人の議員が町政をたどしました。

- 石黒 永剛 議員 .....11
  - ① 佐用町第2次総合計画（平成29年～38年）策定にあたっての思考
- 石堂 基 議員 .....12
  - ① 社会体育施設としてのグラウンドゴルフ場整備
  - ② 「木の駅」事業の推進強化について
- 廣利 一志 議員 .....13
  - ① 周辺市町との連携の今後は
  - ② 古民家保全条例（仮称）の検討を
- 平岡 きぬゑ 議員 .....14
  - ① 佐用町南光歯科保健センターの今後のあり方について
- 竹内 日出夫 議員 .....15
  - ① 老人医療助成制度の充実を
  - ② 食品ロス削減に向けての取り組みを問う
- 岡本 義次 議員 .....16
  - ① 学校統合の検証と通学路の安全確保について
  - ② 選挙について
  - ③ 特産物と観光振興について
- 金谷 英志 議員 .....17
  - ① 教育行政 中学校統合計画は再検討を
  - ② 支所の空き部屋の活用をどうする
- 千種 和英 議員 .....18
  - ① 佐用町南光ひまわり祭りの成果、今後の取組は

8人の議員が斬りこむ

佐用町のことが聞きたい

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

## 第2次総合計画策定にあたって

### 町長一町民と行政による計画づくり



いしぐろ ながよし  
石黒 永剛 議員

**問** 平成29年度～38年度、佐用町第2次総合計画策定の思考として町政策を町民と共有するところに二人三脚協働のまちづくりが実践されると思う。町の政策を共有するため一段の努力が必要と考えるがどうか。

**町長** 地域づくり協議会も10年が経過し十分に取組んでいただいている。将来過疎高齢化により地域機能の低下が予想されるが、各協議会の活動で高齢者などの買い物支援、生活支援サービス、子どもたちの見守り活動など地域の課題にも対応していきたい。また、10月から行政懇談会の開催を予定している。

ラシでは鳥取、津山、姫路、赤穂、美作の商業エリアが目立つ、高速道を利用して京都2時間30分、大阪2時間の距離を活かした方策は考えられないだろうか。

**町長** 地域おこし協力隊たちの地方移住などが発生している。町のひょうご田舎暮らし相談会等でも交通便利性を積極的に提案し、長谷保育園跡地活用では芦屋市を拠点の法人との契約に向け本議会に議案を上程している。また、校舎全体だけではなく、教室1室のみの貸出等考えたい。

活用と星空の景観保全を考えている。また、文化財の保全保護、棚田の保全、緑化団体と連携した花と緑のまちづくりなどを考えている。

**問** 世帯数、人口減の推移の記載がある将来推移は記載以上に減少するのではないかと考えるが。

**町長** さらに減少度合いの激しい推計もあり、簡単に達成できる目標ではない。しかし佐用町と同じような過疎・中山間地域であっても人口が増加または現状維持を目標とした自治体もある中、本町では人口減少は避けることができないが、人口減少の適応策を図り、その緩和を行っていきたい。



▲『第2次総合計画（平成29～38年度）』（基本構想 案）

# グランドゴルフ場整備が必要



いしどう もとい  
石堂 基 議員

## 町長 — 整備内容を検討し設置を進める

**問** グランドゴルフは、昭和57年の発祥から広がり、協会員は20万人、本町でも360人以上の会員があるほか、地域交流イベントとして多くの方に親しまれている。過去には、グランドゴルフ場計画も検討されたが災害等で中断された。新たに専用コース等の整備が必要な時期だと思う。

**町長** グランドゴルフは、ルールも簡易で高齢者や子どもでも競技可能なレクリエーションとして、多くの方が親しんでいる。こうしたスポーツは健康づくりの一環でもあり、今後積極的に推進するために、グランドゴルフ場の整備を改めて検討する。

**問** これまでは笹ヶ丘での整備が考えられていたが、今後の整備場所や時期についてはどのように考えるのか。また、新設するのであれば、専用コースとして認定がとれる整備をすることにより、町外からの利用にも期待がもてる一定の経済効果も生まれるのではないかと。

**町長** 町有地や学校跡地はそれぞれに地域での活用を優先したいので、これまで同様に笹ヶ丘公園内で検討する。特に、笹ヶ丘荘の利用はスポーツ関連が多く、今後さらなる利用者の増加を図るためにもこうした施設を活用したい。また、実施時期については地域創生事業関連として、有

利な財源利用ができるものが出てくれば速やかに行う。

連として、有



▲グランドゴルフ専用コース

## 「木材ステーション さよ」の利用拡大

**問** 昨秋にスタートした「木の駅」事業は、33回体の登録があり、出荷量は300t近くになっている。この事業をさらに普及するために安全・技術講習会や「森づくり講演会」の開催を提案してきたが計画内容はできているか。

**町長** 講習会等の年間計画については内容検討を行うために、担当及び地域おこし協力隊員を必要とするが、最初の取り組みとして「森林作業安全講習会」を実施する。また、「森づくり講演会」については、11月頃に予定をし、森林組合関係者や木の駅事業登録団体、各自治会などに参加を呼びかける。



▲「森林作業安全講習会」

# 古民家保全条例の検討を

## 町長 — 現状では難しい



ひろかが かずし  
**廣利 一志** 議員



▲旧三日月藩の大庄屋の古民家

**問** 岡山県は人気の移住先ではあるが、県境を接する当町としては、古民家が魅力になると思うが。  
**町長** 古民家の定義が難しいが、大正以降と考えても相当数ある。空き家バンクへの登録を進めている。

**問** 他市町との差別化戦略として古民家保全を検討すべきでは。  
**町長** 古民家保全には維持、管理に費用が必要。住民の皆さんの理解を得るには、まだ時間が必要だと考えている。  
**問** 地域文化の継承、生涯学習という意味からも古民家の保全が必要では。  
**教育長** 理解はしているが、まず所有者の理解と

意向を大事にしたい。  
**問** 空き家、古民家改修への町の補助は。  
**町長** 町としては現在補助をしていません。県の制度、「空き家活用支援事業」で、工事費の3分の1、上限100万円。または、「田舎暮らし農園施設整備」での補助などを案内している。  
**周辺市町との連携の現状は**  
**問** 姫路市を中心とする連携中枢都市構想は、結局姫路市に人口が集中するだけではないのか  
**町長** それぞれの市町の独自性を活かし、役割分担をしながら、これから街づくりを考えるものだと思う。



▲利用拡大がなされた図書館

**問** 図書館の利用が広がったが、メリットは。  
**生涯学習課長** 去年の11月より8市8町の図書館の蔵書407万冊の利用ができるようになってい

る。  
**問** 図書館の利用が広がったが、メリットは。  
**町長** 機動的に問題に対処する、そんな面から考えられた。協定は全てを縛らない。メリットが大きいところがあれば、その点を外せばいいと考えている。

# 町立歯科保健センターの 存続・充実を



ひらおか  
**平岡 きぬる** 議員

## 町長―2年後をめどに廃止

**問** 8月19日の議員協議会で町長は「佐用町南光歯科保健センターの今後のあり方について、同運営協議会の答申を尊重し方針を決定したい」と報告した。

次の点について見解を問う。  
1、「答申」は、同センターでかかりつけ歯科医を持たない要介護者や障害者などの歯科診療と訪問歯科診療をおこなうよう求めている。現在多くの町民が町南光歯科保健センターを受診している。

これまでのように予防と治療を一体化した取り組みを続けるべきではないか。

2、全町民を対象に、乳幼児から成人までの一貫した歯科予防で自分の歯を一生保つことが出来る取り組みにしているか。

3、町民の歯科健診充実のために、歯の定期検診を受けやすくする「無料受診券」等の発行をおこない、8020運動の推進をしようか。

4、方針は、どのようにおこなう予定か。

**町長** 南光歯科保健センター開設時に比べ歯科診療所が充足、同センターが担う状況ではない。

自分の歯を一生保つ8020の取り組みは当然今後も大事だと考える。3歳児には無料受診券を出している。さらなる「無料受診券」発行は考えていない。

平成30年4月から一般診療は廃止、予防は関係機関で、在宅訪問は、要介護者の把握をする。方針の移行が出来るよう、健康福祉課・地域包括支

援センターの検討委員会と協議する。

**問** 南光歯科センターの成果は、平成9年に国会で取り上げられ、国の補助制度が作られた。全国に60ヶ所以上が整備されている。また、10月には保健の分野で国内最高位といわれている「第68回保健文化賞」の表彰を受ける。

合併後、全住民を対象にした歯科

保健活動は、今のスタッフ体制では対応しきれない。行政の役割として築いてきた活動を発展させるべきだ。

**町長** 一人暮らしや健診を受けていない人などの状況を把握していく。



▲早期発見早期治療をおこなう南光歯科保健センター



## 老人医療制度の充実を

### 町長一町財源で長期的に負担することは困難



たけうち ひでお  
**竹内 日出夫 議員**



▲いつまでもお元気で



▲早めの健診を

**問** 近隣市町に先駆け、健康長寿で居てもらうため高齢者が医療機関にかかりやすい制度を提案するがどうか。例えば2割負担を1割にあるいは負担をなくするなど。

**町長** 乳児、子ども医療と比べて、医療費の額が莫大なものになり、町財源の中で長期的に負担することは困難である。

**問** 年金収入を加えた所得が80万円以下で町民税非課税世帯の負担は2割となっている。子どもに負担をかけたくないという方も多い。これでは重症化する前に医療機関に行くことが難しい。町も老人医療制度に助成すべきではないか。

**町長** 医療費の負担を軽減することにより、若年

層の負担が重くなる。保険制度として高額医療費については、限度額を設けている。今の保険制度は、他国や昔と比べて非常に良い制度になってきていると考えている。

**食品ロス削減に向けての取り組みを問う**

**問** 学校などの教育施設における食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発をすすめるべきであると思うがどうか。

**町長** 啓発をしていく必要があると思っている。学校での食べ残しが非常に少なく、食育の中で「もったいない」という教育がされていると思う。

**問** 飲食店等における「残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開など、町民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取り組みを進めることが重要であると考えているがどうか。

**町長** 飲食店や宿泊施設の「食べきり運動協力店」を募集して表示ポスターやステッカーを配布し、ウェブ上でマップを作成



▲残さず食べよう！

する事業を予定している。

**問** 佐用町では何食くらい備蓄しているのか。

**町長** 基本的に5千食備蓄している。粉ミルクにおいては20箱、3日分くらい備蓄している。

**問** 学校での災害訓練時にも活用を考えるとどうか。

**町長** 防災教育として必要であり、活用していきたい。

# 学校統合して、よくなったのか

## 教育長—よくなってきた



おかもと よしづく  
**岡本 義次** 議員

**問** 学校が統合して、学力、体力は統合前後でどうなのか。

**教育長** 以前から学力調査で少しづつだが上昇傾向だ。体力は全国的に低下が言われているが過去二年間は低下はみられず、外遊びや体育の時間に体力の強化に努めている。

**問** バスでの送迎で、どうしても低下すると思う。大寒の寒いときでなく、暑くても、毎日運動場を走るとか、体力にあった運動で汗をかけば、風邪をひかない元気な子になるのか。

るので、やらせてほしい。又、本をどれ位読んでいるのか。挨拶は出来ているか。

12%で読書が減少傾向である。挨拶は、小学生は概ね出来ているが、中学生は場面場面、出来ているが校門に立つての運動をし、地域でも出来るよ

**教育長** 毎月四冊以上が小学生は50%、中学生は

るが、地域でも出来るよ



▲段差があり未買収の危険な歩道

うにやっています。

**問** 合併後良くなった点はあるか。

**教育長** 人間関係が体育、音楽の集団で出来る点が良くなった。

**問** 不登校生はいるか。

**教育長** 小学生はなしで中学生は一名いる。

**問** ご家族も心配されており、難しいと思うが一日も早い解決をお願いしたい。上上月の歩道が未買収で、通行止めになつており段差もあり、危険だ。買収がすぐ出来ないのなら、借地してでも通

行出来るようされたい。**町長** 相手方との境界の事や公図整備等で莫大な費用がかかり、進捗していない、引き続き努力していく。

**問** 早瀬二の通学路の倒壊しそうで、危険であり、相手と交渉されたのか。

**企画防災課長** 8月29日相手の方に指導書を出している。9月来庁されて、その事を話し合いもした。

**問** 指導書の期限は切つて、しているのか。

**企画防災課長** 期限は切つてない。

**問** 十日とか一ヶ月切つて、相手と話し、子供達が安心して通行出来るよう、処理を願う。

(他に選挙について、特産物と観光振興についての質問あり。)



▲危険空家のある通学路



# 教育行政 中学校統合計画は再検討を

## 教育長 — 「見直し」を視野



かなたに えいし  
**金谷 英志** 議員

**問** 学校規模適正化推進計画で中学校は、基準年度平成34年には1校に統合したいとしているが、この計画については、「背景」「必要性」「統合学校の場所」などの観点で再検討が必要ではないか。

**教育長** 第2次町教育基本計画で、今後の適正化の取り組みとして中学校は、小学校の状況をみながら「見直し」も視野に入れるとしている。

**問** 学童保育については、現在、マリア幼稚園、上月保育園で行われており、三日月校区での学童保育を早急に開設すべきではないか。

**教育長** 三日月地域と南光地域においても、平成29年度に学童保育所を開



▲平成17年建設の上月中学校

設するよう準備を進めている。

**問** 副教材費相当分を商品券として補助しているが、この方式ではなく義務教育に係る経費は町が直接手当する。保護者からは集金しないという方

法が良いのではないかと。副教材費の費用が学校、学級、学年によって様々で、それぞれ異なる費用を補助するのは公平性の観点から難しい。

**支所の空き部屋活用をどうするか**

**問** 三日月支所は今、2階は書類などの倉庫、3階の旧議会事務局・議場は空き部屋、4階の商工会は不定期に会議などが開かれている状況だ。この三日月支所の空き部屋を活用してトレーニング施設にしようか。

**町長** 直ちに設置することはできないが、支所の



▲三日月支所の3階旧議会委員会室

セキユリテイ、改修費用、新たなトレーニング機器の購入などの問題があり、空きスペースをどうするか検討したい。

**問** 上月支所には、常設の文化財展示室と文化財研究室などの設置をしようか。

**町長** その方向で考えている。具体的な計画を教育委員会できくっている。

# ひまわり祭りの成果と今後の取組は

## 町長―町を代表する観光資源として支援を継続



ちくさ かずひで  
千種 和英 議員

**問** 本年の入込客数は。

**町長** 16日間の入込客数は6万8千900人余りで、昨年比約9千人の減少。理由は天候不順による生育不良、開花時期の遅れである。ひまわり全体としては約9万9千人の入込客であった。

**問** 事業収入及び経費は。

**町長** 駐車場収入が663万2千円で前年比約300万円の減収。理由は16日〜19日の無料化措置のため。経費は、今年度は古くなった備品購入の110万円を増額し、8

60万円である。

**問** 成果と課題は。

**町長** 各種メディアのPR効果もあり地域への、大きな経済波及効果があった。また、徳久バイパスの開通により、国道の交通渋滞が発生しなかった。今後も、天候等の条件はあるが、生産者の方々は来場者に感動を与える立派な花を栽培して頂けるよう町としても支援していきたい。

**問** 町内への波及効果は

**町長** 商工会との協力により、多くの飲食店や各

種直売施設等の売上増加がみられた。

**問** 現状の栽培補助制度の内容、対象面積、補助



▲物産テント村

額は。

**町長** 国から直接交付される産地交付金として、1090万円、町単独の農作物特産定着化対策費として種子買い上げに200円/kgの340万円を予定している。今年度の対象面積は23.7haである。

**問** 国の農業政策の転換による支援制度の変更を把握しているか

**町長** 平成30年度に向け



▲賑わったひまわり祭り

て変更すると聞いているが、その詳細は分かっていない。本年秋季以降の検討だと聞いている。

**問** 産地交付金（国の支援制度）が変更になった場合の対応をどう考えているか。

**町長** ひまわりは町を代表する観光資源であるので、町単独でも支援を継続する意向であるので安心して欲しい。

# 委員会の報告

常任委員会等の案件審議や委員会活動・研修などについてお知らせします。

## 委員会付託案件の審査報告

9月定例議会で各常任委員会に付託のあった案件について審査を行いました。

### 総務常任委員会

(9月21日開催)

委員長 竹内 日出夫

### ■播磨高原広域組合規約の変更

この変更は、昨年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴うもので、教育長及び教育委員の任命方法について、同法に準拠するように規定を変更するものです。また、同法施行令の改正により、解職請求の手続きは地方自治法を準用し、市町の選挙管理委員会が行なうものです。(地方自治法の規定により、組合規約変更を関係団体の議会が議決) 結果・全員賛成 可決

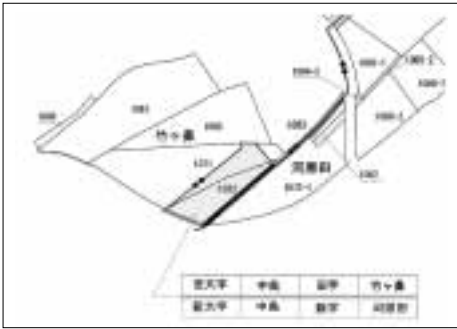
### 産業厚生常任委員会

(9月23日開催)

委員長 千種 和英

### ■字区域の変更

平成26年度から実施している那手地区ほ場整備事業に関するもので、この整備は区画整備面積が3.1ヘクタール、平成26年度着手し、昨年27年度に面工事が完了している。



本年度は既に入札が終了し、確定測量を実施、その後換地処分から登記を完了させる計画を進行中で、換地処分の前段階である。従前地の中島字竹ヶ鼻1071番地等を、中島字河原田に変更になるというものである。概ね質疑もなく、現地視察を実施し原案の通り可決すべきものと決定した。 結果・全員賛成 可決



▶委員会での現地調査

## 組合議会報告

- 西はりま環境事務組合
- 播磨高原広域事務組合

### 西はりま環境事務組合

(8月19日開催)

組合議会議員 岡本 安夫

第30回定例会が開催され、議長の選挙と議案推薦の監査委員の同意が提案され承認されました。

議長

岡本 安夫(佐用町)

監査委員

高岸 博之(たつの市)

申し合わせにより任期は平成29年1月までです。

また、平成27年度的一般会計歳入歳出決算の認定が提案され承認されました。歳入は8億579

0万6789円、歳出は8億3598万8500円。差し引き残額は2191万8239円でした。27年度の佐用町の分担金は1億4268万4000円でした。

### 播磨高原広域事務組合

(7月19日開催)

組合議会議員 矢内 作夫

第2回定例会が開催され、佐用町・上郡町・たつの市の組合議員15人と管理者等が出席しました。当局よりの教育長の同意、資金不足比率の報告、平成27年度補正予算専決処分の承認、平成27年度一般会計決算、歳入5億412万7328円、歳出4億8235万6126円、上水道会計4億4005万9409円、下水道会計3億5309万9019円認定3件、それぞれ6件が提案され、すべて承認・認定されました。

# 全議員研修報告

- カムバックひょうご東京センター
- 兵庫わかわか館（兵庫物産店）
- 国会議員要望

議会運営委員会  
委員長 小林 裕和

7月26・27日、本年度の全議員研修とし、定住促進を目的として東京千代田区にある兵庫県関連施設で研修を行いました。また、佐用高等学校に関する要望についても、地元国会議員に行ってきました。

## □兵庫への移住相談窓

### カムバックひょうご

#### 東京センター

「カムバックひょうご東京センター」の業務内容は、移住相談者の窓口相談や県内市町との合同相談会、関係機関への広報活動等で、移住希望者は移住先とその理由等が明確であり、受け入れる自治体側においては、

- ①生の情報（地元の求人情報、賃貸・売り物件、古民家情報等）
- ②移住コーディネーターや地域おこし協力隊の



▲カムバックひょうご東京センター

- 体制の存在
- ③移住体験が出来る施設があり、補助支援体制の確立
- ④その土地で長年働ける地元企業がある。
- ⑤他の自治体との差別化がある等の情報を提供する（JICA）の、的確に相談者に情報提供ができて、移住促進に繋がる。

佐用町に於いても、相談者の生の声を反映できる組織体制と情報発信が急務である。

## □農業系高等学校の再整備を地元選出国會議員に要望

地元選出国會議員への要望活動を実施し、農業系高等学校の再整備と、地域の実情に即した農業施策の拡充により、包括的な地域創生施策の促進が図られるよう要望した。

（要望先）

- 山口壯衆議院議員
- 末松信介参議院議員
- 鴻池祥肇参議院議員

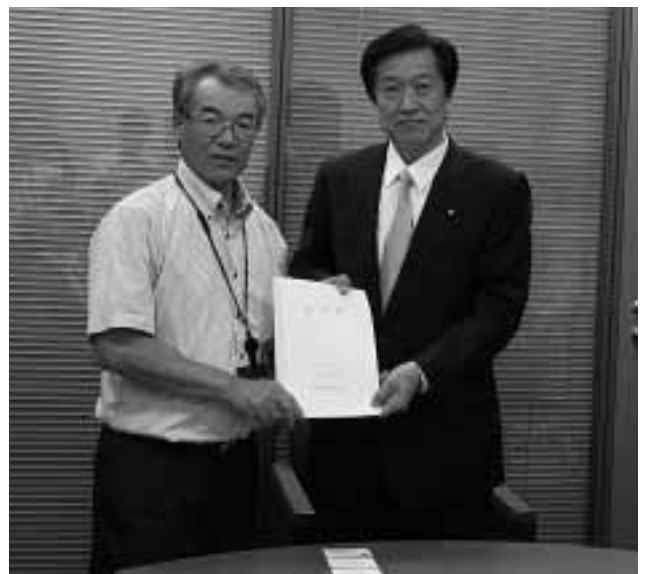
## 要望書（抜粋）

農業系高等学校の再整備と農業施策の拡充による包括的な地域創生の促進について

兵庫県立佐用高等学校には、農業科学科が設けられており、将来の農業を支える人材育成の場であるとともに、新たな農業研究や技術取得の場であるなど、佐用町にとって将来の農業基盤を支える上で極めて重要な社会インフラであります。

新たな農業技術の習得や研究が行える施設の整備や研修施設として利用できるよう農業系高等学校を再整備し、新技術による農業を目指す農業者と連携して、共に学べる拠点となるよう社会開放を実現するための制度改正や中山間地域等の実情に即した農業施策の拡充に格段の御配慮をお願いいたします。

衆議院議員 山口 壯 様  
参議院議員 末松 信 介 様  
参議院議員 鴻池 祥 肇 様



□兵庫県特産物販売店  
「兵庫わくわく館」

兵庫わくわく館（東京都千代田区）は、兵庫の食を首都圏に広めることを目的として、（一）兵庫県特産物発進協会が中心となり意欲あふれる県内40以上の企業が参加をし、平成23年4月に設置されました。

現在も但馬牛や松葉芥、黒大豆、淡路のたまねぎ、清酒、播磨の手延素麺など数多くの特産物を販売して、兵庫の魅力を発信に大きく貢献しています。



▼わくわく館の視察

## 委員会の活動

休会中の委員会の活動を紹介します

□町有財産の遊休地現地調査

総務常任委員会  
委員長 竹内日出夫  
町有財産の遊休施設・遊休地について現地調査を実施しました。

まず初めに、総務課長から遊休地の概要説明を受けた後、7カ所の現地調査を行いました。  
中には、売り出してから長期間経過している遊休地もあり、単価の見直しが必要ではないか、も

しくは単価を変えずに、定住促進や新婚への助成も考えて、売却方法を考えることも必要ではないかとの意見も出ました。  
当局からは、単価の見直しについて空家対策との関係から、担当課である商工観光課と協議・検討するとの回答ありました。



▶未活用の遊休地（船越）



▶単価の見直しが必要かも（長尾）

## 議会運営委員会研修

8月2日 神戸市で開催

□専門的な調査・研究方法について

議会運営委員会

委員 加古原 瑞樹

8月2日に神戸において兵庫県町議会議長会主催の議会運営委員研修会が開催されました。

講師には昨年に引き続き新潟県立大学准教授の田口一博様を招き議会運営の考え方についてお話



しいたいただきました。決して受け身にならず参考人や専門的知見者を活用する事で調査・研究する方法など今後の議会運営において参考になることを学ぶことが出来ました。

西岡 正議員が  
全国町村議会議長会感謝状  
を受賞



全国町村議会の伸展、公共の福祉増進に功  
労があり、その他広く議会・議員の模範となっ  
た功労に対して行われたものです。

12月定例会の予定

- 6 (火) 本会議(議案上程)      15 (木) 産業厚生常任委員会
- 7 (水) 一般質問                      22 (金) 本会議(討論・採決)
- 8 (木) 一般質問
- 9 (金) 一般質問
- 13 (火) 本会議(質疑)
- 14 (水) 総務常任委員会

※一般質問の様子は佐用チャンネルで  
放映します。

表紙写真によせて



徳久保育園の列車遠足

昨日までの台風が嘘  
のような最高の秋空の  
下、徳久保育園の園児  
7人は待ちに待った姫  
新線での遠足。  
列車に乗る機会が少  
ない為、外の景色が大  
はしゃぎ。  
目的地のたつの市中  
河原公園では、前日の  
台風のおかげで辺り一  
面に落ちていたドング  
りを夢中で拾い、袋が  
いっぱい破れそうに

なる子も。  
お昼にはお母さん手  
作りのおにぎり弁当を  
食べたり、鬼ごっこを  
したりと秋の空気にふ  
れながら存分に遊ぶこ  
とが出来たようだ。  
帰りの列車の中の園  
児たちは皆、旅をして  
自信に満ちたその瞳が、  
快晴の秋空のように爽  
やかに輝いていました。  
加古原瑞樹

年賀状はご遠慮させていただきます

私たち議員は、公職選挙法により町民のみなさんに時候の  
あいさつを出すことは禁じられています。

ご了承くださいますようお願いいたします。

編集後記

9月定例議会は、平成  
27年度の各会計決算認定  
の審査が行われました。  
27年度は町合併から10年  
を迎える節目の年でした。  
この決算では、実質公債  
費比率や将来負担率はい  
ずれの指標も向上してい  
ます。

合併前の平成17年4月  
の正職員数は417人で、  
平成28年4月は、258  
人となっております、この人  
件費の削減が指標向上の  
要因の一つとみれます。

町財政の健全化は、今  
後策定される町基本計画  
に活かされるでしょう。

金谷英志 議員

議会広報特別委員会

- 委員長 石堂 基
- 副委員長 金谷 英志
- 委員 加古原瑞樹
- 委員 千種 和英
- 委員 小林 裕和
- 委員 矢内 作夫

